

がじるる 2月

329



2022年2月 1日

編集発行：名護市立中央図書館
〒905-0011 沖縄県名護市宮里5-6-1
TEL:0980-53-7246 FAX:0980-52-2607
<http://www.city.nago.okinawa.jp/library/>

< 一般 2月~4月特集 >

「賞をとったでしょう」

☆2021年、日本・世界のさまざまな『文学賞』を受賞した作品を、
「日本の文芸」「世界の文芸」「ノンフィクション」に分けて紹介します。

※2021年1月~11月に発表された作品を対象にしています。

< 郷土 2月~4月特集 >

県内新聞・書評欄で紹介された本特集

☆2021年沖縄タイムス・琉球新報の書評欄等で紹介された
郷土資料を紹介します。



※2021年1月~12月に掲載された作品を対象にしています。
(未所蔵資料も一部ございます。)

12月の統計

本館貸出冊数	16,834 冊
がじるる号貸出冊数	3,933 冊
羽地地区以外-貸出冊数	763 冊
全館貸出冊数	21,530 冊
開館日数	23 日
予約件数	273 件
来館者数	8,430 人
登録者数	
(月)	77 人
(累計)	57,865 人

新着本 RECOMMENDED

- <児童>
 - 『うさぎじかん』(えほん)
刀根 里衣／著 NHK出版
 - 『不思議屋敷の転校生』
藤重 ヒカル／作 金の星社
 - 『自分を変えたい 殻を破るためのヒント』(YA)
宮武 久佳／著 岩波書店
- <一般>
 - 『映画で楽しむ宇宙開発史』
日達 佳嗣／著 鳥影社
 - 『枯れてこそ美しく』
戸田 奈津子／著 集英社
 - 『言葉を失ったあとで』
信田 さよ子／著 筑摩書房
- <郷土>
 - 『風の棲む丘』
湧上 アシャ／著 ボーダーインク
 - 『新聞が見つめた沖縄』
諸見里 道浩／著 沖縄タイムス社

アメリカ情報コーナー上映会

上映作品
CITY LIGHTS(街の灯) (83分)
音声:なし 字幕:英語・日本語
上映日
2月13日(日) 午後2時30分~
場所
中央図書館 地階 AVホール

主演のチャーリー・チャプリンが監督、
脚本、制作をした、無声映画の名作。

放浪者の男はある日、盲目の花売り
少女に恋をする。彼は花売り娘を助
けようと、奮闘する姿を描くロマンティッ
ク・コメディです。

図書館上映会

上映作品
ポネット (97分)
音声:日本語
上映日
2月27日(日) 午後2時30分~
場所
中央図書館 地階 AVホール

ポネット役の子は1996年のヴェネツィア
国際映画祭で主演女優賞を受賞

4歳のポネットは交通事故で母親を
亡くしてしまった。
叔母の家で新たな生活を始めるが、
母親との再会を信じ待ち続ける。
そんな少女に周りの大人たちは
死の意味を教えようとするが...

名護市立図書館カレンダー(休館日・行事・がじまる号巡回スケジュール)

日	月	火	水	木	金	土
		1 屋我地ひるぎ学園	2 風の子保育園 久辺小学校	3 稲田小学校	4 中山分校 羽地小学校	5
6 羽地図書室休館	7 全館定期休館日	8 数久田地区会館 真喜屋小学校	9 星のしずく保育園	10 伊差川保育園	11	12
13 ★アメリカ情報 コーナー上映会 羽地図書室休館	14 全館定期休館日	15	16 桜野特別支援学校 名護特別支援学校 ★ブックスタート	17 やまびこ久辺保育園 許田コミュニティセンター 瀬喜田小学校	18 安和小学校 勝山病院	19
20 羽地図書室休館	21 全館定期休館日	22 聖ルカ保育園	23 中央図書館開館 (天皇誕生日)	24 整理休館日	25	26
27 ★図書館上映会 羽地図書室休館	28 全館定期休館日					

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、上映会については中止、もしくは座席に制限を設ける場合がございます。ブックスタートについても、絵本の引換のみになる場合がございます。ご了承ください。



羽地図書室だより

羽地図書室では次の特集を行っています。

お気軽に、羽地図書室にお越しください。

今月の特集：ひなまつり

2021絵本50選

2020科学道

ひとはこ文庫：東野圭吾



羽地図書室でも、中央図書館やがじまる号の本を返すことができるよ。また、羽地図書室の本を借りたい場合は、直接借りに行くか、中央図書館窓口でリクエストをしてね(渡すまでに時間がかかる場合があります)

羽地図書室(羽地地区センター内)

- ◇住所 〒905-1144 名護市宇仲尾次829番地
- ◇電話 0980-58-1221(代表)
- ◇開館時間 火曜日～土曜日 11:00～17:00

職員オススメの本

『戦いの音楽史』 著/みの 出版/KADOKAWA

本書は音楽系YouTuberの「みの」さんの書籍デビュー作です。タイトルは過激ですが、わかりやすい洋楽の歴史書としてお勧めです。ポップスやロックに関する本が少ないなかで、本書は20世紀ポップスの歴史を余すところなく解説しており、特に巻頭にある音楽の歴史マップには主要なアーティストが網羅され、歴史上の役割や重要性、位置づけがよく理解できます。

本編では科学技術の発達とともに大量生産、大量消費が実現し、大衆が大きな力を持った大衆社会であった20世紀の100年間でどんな時代であったかを説明しつつ、その中で音楽がどう発達し社会に影響を与えていったかを分かりやすくコンパクトにまとめられて書かれています。日本のポップスのルーツについても洋楽と並行して書かれており、ポップスの歴史を軽く勉強したい人や若いひとにおすすめの本です。文字数が少なめに編集されているのもいいですね。